

教科(科目)	芸術 I (美術)	単位数	2 単位	学年(コース)	2 学年
使用教科書	日本文教出版『高校生の美術 1』				
副教材等					

1 学習目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的経験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。

2 指導の重点

- ① 意図に応じて表現方法を創意工夫し、表現する。
- ② 作品の良さや美しさ、表現の意図と創意工夫などについて考え、美術や美術文化に対する見方や考え方を深める。
- ③ 主体的に表現活動に取り組み、学び合いによって知見を広げ、広く豊かな視野を持って生活や社会を創造していく態度を養う。

3 学習計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	デザインと社会	動画	動画視聴・レポート	4	レポート内容
5	絵画基礎	ワークシート スケッチブック	デッサン・構図・基礎的な技法・画材の扱い	4	ワークシート デッサン
6 7 8	静物画	絵具・パネル	油彩・水彩(形のとらえ方、表現の工夫)	18	作品
9	写真	カメラ	一瞬を切り取る(表現の工夫、発想)	4	作品
10 11	立体表現	粘土	立体で表現する(全体と細部をみながら)	12	作品
12	美術鑑賞	教科書・ワークシート	作品鑑賞・レポート	4	ワークシート レポート内容
1	版画	版材・彫刻刀	版画の特徴を生かした表現	10	作品
2	平面構成	写真・雑誌	コラージュ(色彩・画面構成・発想)	4	作品
3	まとめ	教科書・ワークシート	アートについて考える	4	ワークシート 発表内容

計 64 時間 (55 分授業)

4 課題・提出物等

課題ごとに作品、またはレポートを提出。

5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
創造的な美術の表現のために必要な技能を身につけ、意図に応じて表現方法を工夫して表している。	作品や身の回りのもの・環境に対し自分の価値意識を持って考え、感じ取ろうとしている。生活や社会を豊かにする美術の働きや自国他国の文化に対する見方や感じ方を深めている。	主体的に学習に取り組んでいる。自身や他者の作品・考えに現れている感性を読み取り、尊重している。
以上の観点を踏まえ、 ・制作過程と取り組みの姿勢 ・課題作品やレポートの提出、提出物の内容 などから、総合的に評価します。		

6 担当者からの一言

美術は答えが一つではない教科です。今後の人生に於いて、多様な答えや柔軟な思考が必要とされる場面に出会ったときに、創造的な発想を持ち、創意工夫できるような考え方を学びます。自己表現により自身を見つめ、認め、他者の作品に触れることで他者を認め考えを深める。そんな風に学んで欲しいです。また、美術文化や歴史、先人の技能を学び美術に親しむことにより、心豊かな社会生活を送ることができるでしょう。(担当：門井 直子)